

学外学修センター NEWSLETTER

Off Campus Times

目次

学外学修センターより	1
卒業生インタビュー	2
春休みプログラム実施報告	3
2023年度プログラム予定	4
OGメールリングリストのご案内	4

新しい門出を迎えるみなさんへ

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

この春卒業される方の多くは2019年に入学されたと思いますが、在学中、コロナ禍の影響で思うような学生生活を送れなかったかもしれません。でも、そのような逆境を乗り越えた経験は、必ず次のステージで生きてくるはずです。そしてこの春から本学に入学された一年生の皆さんも、高校時代に出来なかったことが多くあると思います。まだコロナ禍が完全に収束したわけではありませんが、大学生となった今、高校で叶えられなかったことに挑戦してもらいたいと思います。卒業する皆さんも、これから大学生活を送る皆さんも、本学のミッションステートメントを心に刻んで前に進んでください。

弱さを、気づきに。

強さを、分かち合う力に。

不安を、勇気に。

逆境を、創造を灯す光に。

津田塾大学では2017年に学年暦が4学期制に変更され、学外学修制度が始動しました。2022年までの6年間で、1000人以上の学生が学外学修活動に参加してくれました。2022年度は多くの活動が対面に戻り、海外派遣も再開することができました。オンラインにも様々な利点がありますが、実際に人にとってコミュニケーションをとれることの喜びも再認識できた一年でした。

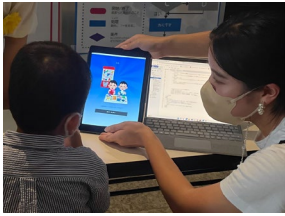
困難な時期にこそ、主体性が鍵となります。他人が何とかしてくれるのを待つのではなく、「課題を解決するためには何が必要か」、「この経験をこれからどのように活かすか」を考え抜き、行動してください。これは、新入生、そしてこれから社会にでていく卒業生たちにとっても共通する問いです。学外学修センターは、皆さんが自ら答を見つけ成長していけるよう、今年も支援していきます。よろしくお願いします。

(学外学修センター 副センター長 敦賀和外)

小平キャンパスの学外学修センターは2023年4月より7号館1階に移転します！詳細はP4で確認ください。

卒業生インタビュー (学外学修センターWebサイトより抜粋)

コロナ禍と共にあった4年間、 “密”な学びと出会いを通して 総合政策学部卒業 山口ひかりさん



4年を振り返って、津田塾での生活は人生で一番勉強した4年間でした。ジェンダー問題に関する非営利団体の津田塾支部を立ち上げたり、IT企業とのイベント運営を経験し、学内外でインターンシップにも挑戦しました。

学外学修センターを通じては、富士通クラウドテクノロジーズのアプリ開発を行うインターンシップに参加しました。企画から開発まで、アプリ開発に係る一連の流れを実際に体験するという内容のもので、私たちのチームはSDGsを生活の中に取り入れることをテーマにおみくじ風アプリを開発しました。ゼミの授業でアプリを開発した時は、コーディングが得意な友だちに開発を任せてしまっていたので、卒業する前にもう一度、プログラミングにチャレンジしたいと思ったのが参加したきっかけの1つです。この経験のおかげで、技術に触れながらビジネスをしたいと考えるようになり、最終的にIT企業のコンサルタントになる進路選択しました。

(大学生活では) やり直したいことはなく学びました！勉強、学外・学内のプロジェクト、アルバイト、そして友達との遊びも、これ以上何を頑張れば、というほどには頑張れました。そんな大学生活を通じて、高校生時には想像していなかった自分になることができました。辛い時こそ、その辛さを信じてほしい！津田塾大学は



特に課題も多く、授業も大変で、辛くて泣きたくなる時もあります。けれど、それがあからこの成長や学びがあって、後々できるようになります。大学での学びや経験は自分を変えられます。

コロナ禍でも前向きに。 挑み続けて見つけた自分の思い 英語英文学科卒業 伴野日菜さん



1年の時は成田空港の通訳ボランティアとして活動しました。航空業界への関心もありましたし、高校時代の留学で培った英語力を落とさたくないという思いもあって挑戦しました。一緒に活動したボラン

ティアの方が物おじせずに話している姿を見て、語学スキル以上にコミュニケーションをとろうとする気持ちの大切さを学びました。その学びは、大学の授業のディスカッションで活かせたと思います。

JALのインデペンデントスタディには2回参加。このプログラムでは、働く人の目線で必要な物事を考えなければならず、それを考えることはサービスを受ける側のことも同時に考えていることに気づきました。複合的な視点で物事を考えることは難しかったけれど、やりがいがあり充実していました。



新入生、後輩の方には偏見を持たずになんでもチャレンジして欲しいです！大学時代にしてきたことはどの経験も無駄ではなかったと思うし、気になったことはなんでも一回やってみることをおすすめします。就活に関してもいろいろな業界を見る経験をできたから自分の道を定めることができたと思います。つらいこともあるかもしれませんが、必ず自分を磨く要素になるはずですよ。

卒業生インタビュー全文はこちら▶

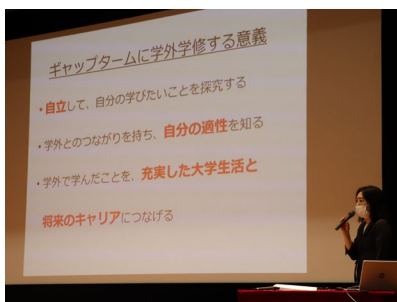
学外学修Webサイト

<https://offcampus.tsuda.ac.jp/case.html>



2023春オープンキャンパス 「キャンパスを超えた学びとキャリア支援」

3月21日（火・祝）@千駄ヶ谷キャンパス 3月26日（日）@小平キャンパス



高校生と保護者の方に向けて、津田塾の特徴のひとつである第2タームの学外学修と、4年間の様々な学びを経て津田塾生がどのような卒業後の進路を歩んでいるかについて、ご紹介しました。

両キャンパスでそれぞれ2名の在校生が、学外学修を通じて学んだこと、今後のキャリアにどう活かしていきたいかについて話し、終了後には高校生から個別にさまざまな質問を受けていました。

三菱電機 国際本部 インターンシップ

三菱電機国際本部での8日間のインターンシップに7名の学生が参加しました。海外市場での新規事業について二つのグループに分かれて提案を作成し、最終日には英語でプレゼンテーションを行いました。



< 参加した学生より >

今回のインターンシップは、企業についてビジネスと社会貢献の両面から知り、視野が広がる貴重な経験となりました。インターンに参加する前は、メーカーは製品を作るところからという印象でしたが、今回のインターンを通して、一つの製品を作り始める前に原料や材料の発掘・生産現場で環境問題につながることはないか、労働環境が正しく管理されているかなど、企業がサプライチェーンで具体的に取り組んでいることを知ることが出来ました。企業でも、ビジネスだけでなく社会貢献や社会的責任などの面で広い視野に立るということがわかりました。

最終プレゼンに向けて「物事を先に進めていかなくてはならない」という場面に何度か直面し、これから社会人になったら特に、仕事だったらなおさらそういう力をつけていかなくてはならないと実感しこれからもっと意識していこうと思いました。ひとつの企業のことをここまで深く知ることができ、今回学んだことは、就活だけではなく大学の学びでも、視野を広げるきっかけになりました。（国際関係学科3年）

『人に伝わる話し方』講座

授業での発表やプレゼン、面接などの機会で、人前で自信をもって話すために話し方を改善することをねらいとした講座を実施しました。千駄ヶ谷キャンパスにて対面で実施し、15名の学生が参加しました。



< 参加した学生より >

●主人公は聞き手だということが印象に残りました。話している時に、自分本位になってしまいがち（自分が話さなければいけないと思ってしまふ）だったため、相手に伝わる内容か、話し方を考える視点が大変勉強になりました。今回の講座で自分の話すことに関して少し自信を持つことができたので、今後恐れずに話すことを経験していきたいです。講義全体を通して、講師の方々が優しく笑顔で接して下さったことが大変印象に残りましたし、あっという間に時間が経ってしまいました。話す時に意識できることをたくさん教えていただいたので、少しずつ取り入れていきたいです。（国際関係学科 2年）

●PREP法が特に印象に残りました。PREP法を導入することによって、自分の話がブラッシュアップされ、話すことに自信ができました。また、うまく話せることは才能やその人の性格によるものだと考えていましたが、適切な準備と練習があるからできることだと認識しました。今後の大学のプレゼンや就活では、入念な準備をし、友達との会話の中ではナチュラルに5W1H も用いながら、今回学んだことを取り入れていきたいと思いました。自分が話す際の短所だと感じることは自分が思ったよりも会話で影響しないことが分かり、気遣いすぎ、気にしすぎ点があるのではないかと考えました。相手があるから会話、面接があるので感情表現などの配慮もこれから忘れずにしたいと思います。（多文化・国際協力学科2年）

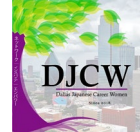
●フィードバックを直接プロに聞け、客観的に見た自分の良さを聞けたのが良かった。また、相手のエピソードを聞いてフィードバックをする際に、自分では感じなかった感想を周りが話していることがあり、同じものを聞いても感じ方の差があり興味深かった。（情報科学科2年）

2023年度第2タームプログラム予定

4月28日
募集開始!!

今年も津田塾生限定のインターンシップやワークショップ、各種講座を実施します。
4月下旬には学内で説明会を行います。

- ◆日本航空「サステナブルな旅」テーマの講座
- ◆パナソニックグループ インターンシップ (10日間)
- ◆富士通クラウドテクノロジーズ・プログラム
- ◆ワークライフ・インターンシップ
- ◆JTP株式会社インターンシップ (9日間)
- ◆米国NPO法人 DJCWインターンシップ (オンライン)
- ◆『はじめてのプレゼン資料作成講座』 (オンライン)
- ◆『ワタシの未来発見ワークショップ』



※プログラムの実施方法などについては変更の可能性があります。
最新情報は学外学修センターで確認してください。

卒業生の皆さんへ OGメーリングリストのご案内

OG向けにメーリングリスト「サポーターOG通信」を配信しています。
配信はセンターのウェブサイトやFacebookの更新時、ニュースレターを発行した時などで、頻度は4か月に1回程度。

在校生中に学外学修センターMLに登録いただいていた4年生は、今後は「サポーターOG通信」を大学メールアドレス宛にお届けしますので、これからも学外学修センターをどうぞよろしくお願い致します！



登録フォーム↑



ビズリーチキャンパス
for 津田塾大学

本学は2020年10月より「ビズリーチ・キャンパス」を大学公式のOG訪問プラットフォームとして公認利用しています。
今年2月にはテレビ東京『カンプリア宮殿』で本学の取り組みが紹介されました。

小規模な大学で在校生はOGとのつながりを心強く感じています。
OG訪問や在学生のキャリア支援に進路チューター（公認OG）としてご協力いただける方、ぜひご登録をお願いします！



登録フォーム↑

【学外学修センター利用案内】

◆在校生専用ポータルサイト

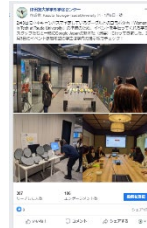
TsudaNet画面下部のバナーからアクセスできます。プログラム情報、学外学修の手続き、最新情報を随時掲載しています。



◆Facebookページ

学外学修センターの活動報告や、講座・イベントの実施レポートなどを投稿しています。活動内容やプログラムの実施状況、様子を知りたい方はぜひフォローしてください！

<https://www.facebook.com/tsudaoffcampus>



◆メーリングリスト

プログラム情報やセンターからのお知らせをタイムリーに配信しています。新規の募集告知はもちろん、追加募集や募集期間延長などもメーリングリストでお知らせしています。

学外学修メーリングリスト
登録はこちら↓



小平キャンパスの学外学修センターは2023年4月より7号館1階に移転します！

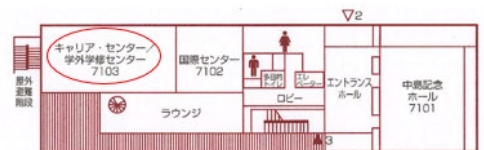
学外学修センター 窓口について

場所：小平キャンパス7号館 1階 7103
千駄ヶ谷キャンパス 1階 SA107
開室時間：9:00-16:00 (お昼休11:15-12:15)

問合せ・面談希望：問い合わせフォーム (右記QRコード) からお問合せください。

面談は基本オンラインで実施しますが、対面をご希望の場合は同じくフォームからお申込みください。千駄ヶ谷キャンパスも同様です。

学外学修センターへのお問合せはこちら↓



7号館